

平成 2 4 年 度 同 好 会 事 業 報 告

地 歴 同 好 会 世 話 係 名 丸 山 穰 会 長 名 新 津 朋 典

月 日	実 施 し た 事 業 内 容	参 加 人 員
5 月 1 日	同 好 会 発 足 会、世 話 係・会 長 会	1 7 名
6 月 1 5 日	第二回地歴同好会（須坂市立博物館の見学） 須坂市立博物館の学芸員の先生より、展示内容についての説明をしていただいた。	6名
6 月 3 0 日	第三回地歴同好会（須坂市誌民族調査中間報告会への参加） 須坂市誌編纂の進捗状況についての報告を聞いた。	5名
8 月 2 日	第四回地歴同好会（国土地理院出前講座への参加） 三角点等について、郡内の基準となる地点の意義について、研修を深めることができた。	3 名
8 月 3 日	第五回地歴同好会（夏期巡検） 「大笹街道を訪ねる」：講師 青木廣安先生 今年度は、上高井地方と関東地方との交易路として頻繁に利用された大笹街道を訪ねた。仁礼宿から出発し、菅平を経由し、鳥井峠、孀恋村方面へと向かった。孀恋村では広大なキャベツ畑や浅間山の噴火で火砕流の被害に遭った鎌原観音堂を訪れた。また、桜岩堂地蔵尊などでは、上高井の商人の名前が残され石碑が数多く残されていることに、この地と上高井とのつながりを感じることができた。	会 員 9 名 一 般 会 員 2 名 会 員 以 外 6 名 合 計 1 7 名 講 師 1 名

今年度の地歴同好会も、夏期巡検をメインの活動として研修を深めました。今年度の夏期巡検を中心に地歴同好会の活動を報告したいと思います。

今年度の夏期巡検は、夏休み中の八月三日（金）、須坂市誌編纂室主任編纂専門員の青木廣安先生を講師にお迎えして行いました。会員からも希望のあった、大笹街道から群馬県方面を中心に巡検を行いました。巡検のタイトルは、青木先生と相談の結果、「大笹街道を訪ねて～仁礼宿～菅平～鎌原～大笹」としました。当日は、会員十一名に加え、地域の方七名の参加も得、総勢十八名で行いました。

まず仁礼宿を訪れました。仁礼宿では、馬頭観世音、口留番所跡、新問屋などを訪れ、当時の仁礼宿の様子をしのびました。当時の賑わいを感じることができました。その後、石小屋洞穴を訪れ、縄文初期の土器が発掘された洞穴を見ました。縄文人がこんな山の中で生活していたことに驚きを感じました。バスは、山道を登り、須坂市の小中学生が宿泊学習を行う須坂青年の家の裏側に残る「土手道」を見ました。雪や吹雪で遭難しないようにと考えられた先人の知恵を感じることができました。また、旅の途中で倒れた人や馬に手向けられた石仏や石塔に、大笹街道の厳しさを感じることができました。群馬県境の鳥井峠では、今も残る古い鳥居から、かつて盛んだった四阿山信仰を知ることができました。鳥井峠からバスは群馬県に入り国道を下ります。途中バスを降り、左側の土手を登っていくと、

「奉納百番供養塔」がありました。塔には「右ハ仁連 左ハウヘ田」と書かれており、上田道と仁礼道の分岐を示していました。群馬県のこの地に「仁礼」のことが書かれている石碑があることに、ちょっと感動しました。その後、さらにバスは進み、キャベツ畑が一面に広がる「愛妻の丘」に着きました。ここからは、煙を吐く雄大な浅間山の雄姿も見えました。ここ孺恋村は、日本武尊が東征中、海の神の怒りを鎮めるために海に身を投じた亡き妻を偲び、「吾孺者耶」と嘆いたことから孺恋村と名付けられたそうです。ちょっとロマンチックな話をお聞きしました。三原道の終点である上の貝・干又ではかつて三原道に置かれていた、石仏が多数安置されているのを見ました。近くには、米子鉾山と結ばれていた鉄索の跡地もありました。この地は、山を隔てて須坂と反対側にあることに気づかされました。その後、鎌原観音堂を訪れました。ここは、江戸時代、天明三年の浅間山大噴火により被害のあった旧鎌原村です。台地にあったこの観音堂だけが残り、生存者の多くはここに逃げて助かったそうです。昼食後は、桜堂地藏尊を訪れました。ここには、かつて六里ヶ原の道しるべとして置かれていた観音仏が多数安置されていました。観音仏の中には、須坂や小布施の商人達が寄進した物が幾つもありました。この地が、上高井の商人の交易路として重要な場所であったことがよくわかりました。その後、抜け道の碑を訪れました。「揚げひばり 見聞きてここに休ふて 右を仏の道と知るべし」と書かれた石碑は、手形のない通行人に仁礼（大笹）街道の関所を避けて善光寺に抜ける道を暗示していました。文学的にも香り高い碑であると感じました。大笹関所跡で記念撮影をし、須坂へと戻ってきました。

今回の巡検では、大笹街道に関連する多くの歴史的遺構を見ることができました。その場所場所で、講師の青木先生からは興味深いたくさんのお話をお聞きすることができました。充実した巡検になったと思います。最後に、快く講師をお引き受けいただいた青木先生、そして巡検にご参加いただいた先生方に感謝の意を表し、地歴同好会からの報告としたいと思います。

（会長 新津 朋典）